

経営形態：繁殖・肥育の一貫農家

作業員：4人

規模：繁殖母豚：23頭 種雄豚：6頭

肥育豚：200頭



図1 A農家の概要

表1 調査結果

調査内容	調査結果
飼養状況	繁殖豚と肥育豚は完全別棟で飼育
導入状況	肥育豚について一部、外部導入 (導入元は県外農家4件) <b>導入元でのPRRSワクチンは未接種</b>
管理状況	導入豚は日齢の近い自家産肥育豚と同居飼育
作業動線	作業者は繁殖・肥育両方の作業に従事

外部導入豚全頭において  
PRRS抗体 陽性 (5/5)

外部導入豚からのPRRSウイルスの侵入が示唆

図2 抗体検査結果

表2 対策・指導

	対策・指導	備考
PRRSワクチン未接種	ワクチンの接種	対象 3~18週齢の肥育豚 交配3~4週前の繁殖母豚
導入豚と肥育豚の同居	消毒等衛生管理の徹底 豚舎ごとの作業者の専従化 内部および外部寄生虫の駆除	豚舎ごとに専用の作業着・長靴を準備 豚舎間での往来禁止 イベルメクチンの塗布
PRRSウイルス侵入	導入の中止	優良繁殖母豚の作出 繁殖母豚の増頭・更新 的確な発情の発見

- ・ 肥育豚でのワクチン接種全頭終了
- ・ 繁殖豚においても順次ワクチン接種を開始
  - ワクチン未接種**繁殖母豚及び種雄豚
    - 抗体陰性を確認 (0/5)
  - ワクチン接種済み**繁殖母豚
    - 抗体獲得を確認 (3/3)
- ・ 優良母豚の増頭を開始

図3 現在の状況

- ・ 検査によりA農家でPRRS抗体が陽性
  - ・ 調査の結果、導入豚からのウイルス侵入が示唆
  - ・ 導入を必要とする経営状態
- ↓
- ・ PRRSワクチン接種、飼養管理指導、肥育豚外部導入中止に向け助言
- ↓
- 現在) 肥育豚でのPRRSワクチン接種完了  
優良母豚の増頭を開始
- ↓
- 今後) PRRSの蔓延防止  
自家産豚による経営

図4 今後の方針